

承認番号

医療機器承認番号 20700BZZ01159 低周波治療器「管理医療機器」

電気的仕様

定格電源電圧:~100 [V](50/60Hz)

定格消費電力:23 [W]

治療周波数:ポイント治療メニュー (1~1000Hz)

治療コースメニュー(3~100Hz)

バランス調整:左右出力差±30% タ イ マー:最長15分(1分毎に設定) 温熱導子設定:最高43℃(無段階調整)

本体仕様

•••••••

寸 法:幅378×奥行280×高さ178(mm)

重 量:本体3.9(Kg)

付属品:温熱導子3個(大1、小2)

ベルト3本(大1、小2) 入力ヒューズ 1個

導子アタッチメント 3個

導子コードキーパー 2個

本体ビニールカバー 1枚

⚠ 危 険



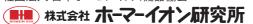
・下記のような医用電子機器との併用は、誤動作を招く恐れがありますので使用しないでください。 ペースメーカなどの体内植込み型医用電気機器、心電計などの装着形の医用電気機器

販売元

標準価格 ¥ 294,000

(本体価格 ¥280,000、消費税等 ¥14,000) 別売携帯ケース ¥25,200(消費税込)

社団法人 日本ホームヘルス機器協会



東京都渋谷区神泉町17-2

お客様相談室フリーダイヤル

0000120-0842-39

オハヨーニ サンキュウ





TRANSCUTANEOUS
ELECTRICAL
NERVE
STIMULATOR



効能・効果

肩こり、末梢神経マヒ、マッサージ効果

・疲労回復 ・血行促進 ・神経痛 ・筋肉痛の痛みの緩解

FAS (frequency auto change system) 刺激が自動的に変わり、立体的に揉みほぐす

FAS により、治療する周波数が自動的に変わり、患部の浅い筋肉から奥深い痛みの元まで徐々に入り込むよう な、まさに立体的に揉みほぐす治療感。この気持ち良さが効果の秘訣です!

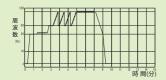
肩や腰、膝など治療する部位によって、筋肉や神経の構造、痛みの原因等が違います。従来、専門的な知識を 必要としていた複雑な治療パターンの設定が、ボタンひとつで行えます。

|治療コースメニューの内容

肩・首(10分)







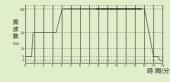
もみほぐしながら、痛みを

抑える作用で治療します。

筋肉の硬直を防ぎ、たたき ながらもみほぐします。

腕・脚(10分)

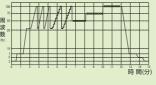




全身の血行を良くし、疲労 を癒します。

腰(15分)



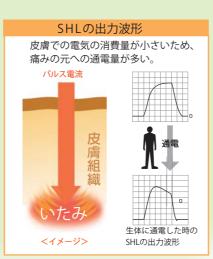


足腰の痛みや疲労を左右の バランスを整えながら治療 します。

ECP (exponential climbing pulse) 効果の良さが"ききめ"の秘密

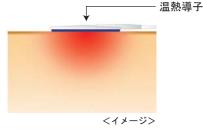
治療器から出る電気は、ECP(指 数関数的漸増波)と呼ばれる波形 を採用。人の皮膚に不快な刺激を 与えず、更に電気を深部へ届ける ことができます。電気特有の「チ クチク」「ビリビリ」が無く、大変気 持ち良く治療が行えるとともに、ま たそれゆえ深部のコリに手が届く ような感じまで、出力を上げること が可能になりました。





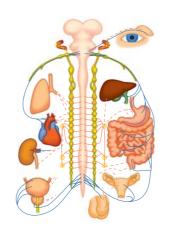
- 温熱導子が心地よさを倍増ー

3つの導子には、自動制御されたヒーターが内蔵されています。 温熱感でより心地よく、リラックスして治療できます。

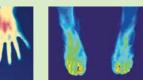


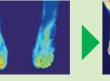
脊髓涌雷法-

脊髄は、全身の神経を経由させる情報中枢網です。手足につながる運動神経だけでなく、血管を含める循環器系、 消化器系、泌尿器系などに分類される内臓諸器官をコントロールしている自律神経は、この脊髄から末梢に接続 されています。脊髄通電法は、この神経の集中している脊髄に通電することで、全身的な疲労回復、血行促進の効 果が得られます。日々の疲労が積み重なることで、コリや痛みが増幅し、症状が悪化していきます。一日の疲れを リフレッシュするのが、この脊髄通電です。



全身的に作用する脊髄通電法









通電部位 脊髄 経過時間 治療スタート 通電部位 脊髄 経過時間 治療中10分

この図は血行の様子を記録したサーモグラムです。神経の幹線道路である脊髄上に導子を あて通電する方法により、末梢血管が拡張して血流が増加します。



- 在宅治療とは-

一般的に職業病は、疲労した時にしつかりとした治療ができ ていないことが多いです。その理由として、疲労する時ほど 仕事が忙しく、治療をしに行く時間がないことから、疲労した 患部を悪化させます。職業病でない人であっても、忙しくて 有効な治療ができない、継続できないという方々が大変多 くいらっしゃいます。そういった方々に、自宅に居ながらにし て必要な時に必要な治療が行える。これが"在宅治療"のメ リットです。忙しい時でも、テレビを見ながらでも、寝ながら でも行える在宅治療であれば、毎日の継続治療が容易にでき ますから、日々の疲労が蓄積されることなく、痛みや苦痛のな い快適な生活を手に入れることができます。

